

植物ゲノム・遺伝子源解析センター 公開月例セミナー

とき	令和2年11月30日（月）16時～17時
ところ	リモート開催（アドレス情報はセンターHPに後日掲示）
題目	「植物と植物病原菌への希少糖作用機構」
講師	農学部教授 秋光 和也 博士

講演内容概略

約30種類ある六炭糖の中で、D-グルコースのC3位のエピマーであるD-アロースと、ケトースでありD-フルクトースのC3位のエピマーであるD-アルロース（=D-プシコース）は、植物の生長抑制と防御反応を誘起する。一方、ケトースでありD-フルクトースのC4位のエピマーであるD-タガトースは、植物に影響を与えることなく、べと病菌などの病原菌に抗菌活性を示す。これらの希少糖作用は、いずれも細胞内の糖代謝経路と密接に関係する。単糖という内因性の因子に誘導される防御反応のシグナル伝達研究は、外因性の誘導因子と異なる点が多々見られ、新しい切り口を見せ始めている。

単糖という身近に感じる素材にも関わらず、誰も手にしなかった希少糖という天然素材を用いた研究の進展には、様々な新しい道を切り開く必要がある。若い研究者や学生諸氏としっかり四つに組んで取り組んでいる研究を紹介する。

※ご参加ご希望の方は、下記のセンターHPにアクセスの上、開催アドレス（Zoom予定）情報を取得してください。



主催：香川大学農学部 植物ゲノム・遺伝子源解析センター
(<http://www.ag.kagawa-u.ac.jp/phytogene/index.html>)